

所 報

一九八六年一月から二月までの一年間における専修大学社会科学研究所の諸活動を報告する。

一 機構および人事

(一) 所員総会

1 第四七回定例所員総会（一九八六年六月二日、神田校舎二二A会議室）

議事 (1)赤羽新太郎所員を議長に選出、(2)三輪芳郎所長挨拶、(3)新所員ならびに所外研究員委嘱の報告、(4)一九八五年度事業報告、会計監査報告——報告を承認、(5)一九八六年度事業計画案および予算案を原案通り承認決定。

2 第四八回定例所員総会（一九八六年二月二〇日神田校舎二二A会議室）

議事 (1)柴田弘捷所員を議長に選出、(2)三輪芳郎所長挨拶、(3)一九八六年度事業経過報告、会計経過報告——報告を承認、(4)一九八七年度事業計画案および要求予算案を原案通り承認決定。(5)社研規程の一部改正案——一部修正の上可決。

(6)所長・三部長・会計監査委員・事務局長の改選——投票の結果、所長に三輪芳郎所員(再)、第一部長に佐藤博所員(再)、第二部長に加藤佑治所員(新)、第三部長に加藤幸三郎所員(再)、会計監査委員に大西勝明所員(新)、事務局長に水川侑所員(新)が選出された。任期は一九八七年四月から一九八九年三月までである。

(二) 運営委員会および事務局の構成

一九八六年度の運営委員会、事務局の構成は次の通り。

運営委員会——三輪芳郎所長、佐藤博所員（総合理論部長）、宇都栄子所員（現状部長）、加藤幸三郎所員（歴史部長）、望月清司経済学部長（八月まで、九月以後は二瓶敏経学部長）、内田弘前事務局長、福島新吾所員、儀我壮一郎所員、田路健一所員、吉岡恒明所員、平川東亜事務局長、会計監査——吉岡健次所員。

事務局——〈事務局長〉平川東亜、〈社研プロジェクト担当〉大西勝明、〈研究会担当〉池本正純、沢野徹、新藤宗幸、〈編集担当〉矢吹満男、上村達男（六月まで）、木幡文徳（七月より）、田口冬樹、〈文献資料担当〉作間逸雄、福島義和、〈パソコン担当〉平井俊顕、〈財政担当〉泉武夫（九月まで）、黒川保美（六月まで）、奥村輝夫（七月より）、高橋祐吉（七月より）、水川侑（七月より）、以上二四所員（二月現在）。

(三) 所員・所外研究員の移動

工藤達男(営)、西村弘(経)、村上俊介(経)、望月宏(経)の四氏は四月二四日の持ち回り運営委員会の議を経て、四月一日付けで新所員に委嘱された。

以上により第四八回定例所員総会時における所員は一一四名(全員専任教員)、改正規程にもとづく所外研究員一名、研究参与二名となった。

●前田泰男所員(本学商学部教授)は一九八六年七月一四日心不全のため国立ガンセンターで御逝去されました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

二 研究活動

(一) 定例研究会

(1) 一月一八日(土) 神田八A会議室

人文研を含む他の研究所と「国家秘密法案」合同研究会
隅野隆徳所員「国家秘密法案の背景と基本問題」
森崎震二氏(文)「図書館と国家秘密法体制」

(2) 一月二五日(土) 神田社研分室

大河原伸夫氏(九州大)「政策と政策実施——T. Lowiの政策類型論をてがかりにして——」

(3) 二月八日(土) 神田社研分室

高須賀義博著『マルクス経済学の解体と再生』の合評
報告者・高須賀義博氏(一橋大)、コメンテーター・島田稔夫氏(神奈川大)、矢吹満男所員

(4) 五月一四日(水) 生田第三会議室

徐 禾(じょ・か)氏(中国人民大)「中国の経済改革と『資本論』」、通訳・折戸洪太氏(徳山大)

(5) 五月二〇日(火) 生田社研

鈴木直次所員「アメリカ・ホンダ、アメリカ・ニッサン見て歩る記」

(6) 一月一日(火) 生田第六会議室

溝田誠吾所員「アメリカにおけるビッグビジネスの成立をめぐって」、コメンテーター・池本正純・大西勝明両所員

(7) 一月二日(土) 神田一三号教室

「国家秘密法修正案」合同研究会(社研・法研・経営研・商研・人文研)

大野平吉氏(法)「国家秘密法修正案の刑法学的検討」

高須正郎氏(文)「国家秘密法とマスコミ」

(二) 社研プロジェクト

(1) プロジェクト運営会議

一月二九日(土) 生田二号館談話室

今回のプロジェクトの中間総括と今後の課題

(2) 社研プロジェクト研究会

- (i) 一月一日(土) 社研神田分室
- 尾関周二氏(東京農工大)「コンピュータ・情報・人間」
- (ii) 四月二日(土) 神田八B会議室
- 赤木昭夫氏(NHK解説委員)「現代科学技術の課題——SDI(戦略防衛構想)の意義と問題点——」
- (iii) 五月二〇日(土) 社研神田分室
- 中島篤之助氏(中央大)「原子力発電をめぐる最近の諸問題」
- (iv) 六月七日(土) 社研神田分室
- 吉川 寛氏(大阪大)「DNA複製とその制御」
- (v) 七月五日(土) 生田社研
- 中村桂子氏(三菱化成生命科学研究所)「生命科学の発達と社会の進化」
- (vi) 一〇月四日(土) 生田社研
- 横倉節夫氏(神奈川大)「金融機関におけるハイテク化の進展と諸問題」
- (vii) 十一月一日(土) 社研神田分室
- 豊田利幸氏(明治学院大)「ハイテクノロジーの問題点」

(3) 工場見学

- (a) 二月七日(金) 長野県伊那市
- 三協精機製作所、信栄通信工業、ハーモ
- (b) 三月一三日(木) 名古屋市

- 大隈鉄工所、三菱重工業名古屋機器製作所
- (x) 七月二十四日(木) 浜松市
- 浜松ホトニクス、日本楽器豊岡工場

(三) 特別研究会

- (1) 二月六日(木) 合宿研究会(伊那市)
 - 井上照幸氏(高崎経済大)「SDIとわが国情報通信産業」、坂本 清氏(和光大)「ソフト産業・ソフト労働の展開」
 - (2) 三月二二日(水) 合宿研究会(名古屋グランドホテル)
 - 坂本和一氏(立命館大)「情報技術革新と企業構造」、高須健二氏(愛知大)「科学技術の発展と地域経済の捉え方」
 - (3) 七月二三日(水) 合宿研究会(浜松市役所)
 - 武藤喜嗣氏(浜松市役所)・山本義彦氏(静岡大)「浜松地域テクノポリス構想について」
 - (4) 十一月二三日(木) 神田視聴覚教室
 - 映画会(八ミリ) 解説・三輪所長「北朝鮮」
 - (5) 十一月二七日(木) 神田視聴覚教室
 - 映画会(八ミリ) 解説・三輪所長「中国」
- (四) グループ研究助成
- 一九八六年度は次の八件(助成A一七件、助成B一一件)が助成された。なお研究助成Aに対しては、グループのメン

パーのうち、一人以上の所員が当グループが定めた共通テーマに関連する個別テーマで、本研究所が指定もしくは承認した公表誌に研究成果を公表する義務が課されている。

助成 A

- (1) 継続「高度産業社会における国家と経済」(一九八四年度発足)(鶴田〈代〉・吉家・玉垣・中村・正村・宮下・鈴木・中島・原田・平井・宮本・八林の一二所員)
- (2) “「明治国家史の研究」(一九八四年度発足)(隅野〈代〉・泉(久)・小沼・小林・近藤・佐々木・佐藤(恭)・高柳・福島(新)・宮坂・石村・鎌田・木幡の二三所員)
- (3) “「労働組合と地域社会」(一九八五年度発足)(栗木〈代〉・池田・加藤(佑)・儀我・西岡・溝田・高橋(祐)の七所員)
- (4) “「国民経済計算の諸問題」(一九八五年度発足)(田路〈代〉・正村・鶴田・松田・黒川・小藤・作間の七所員)
- (5) “「資本論」と現代資本主義」(一九八五年度発足)(沢野〈代〉・泉(武)・内田・大西・酒井・高橋(祐)・田口・西村・村上・溝田・矢吹の一一所員)
- (6) “「日本の企業金融の最近の变化」(一九八五年度発足)(熊野〈代〉・麻島・池本・伊東・上村・平川の六所員)
- (7) 新規「現代社会における競争と公正」(今年度発足(吉岡(恒)〈代〉・中島・平井・原田・宮本・望月(宏)の六所員)

助成 B

(1) 新規「民俗社会の構造研究——沖縄県大宜味村謝名城の場合一」(樋口〈代〉・宇都・福島(義)の三所員)

(5) 個人研究助成

一九八六年度は下記の五件を助成した。なおこの助成には原則として、交付年度より起算して三年以内に本研究所が指定もしくは承認した公表誌に、その研究成果を公表する義務が課されている。

- (1) 黒田所員「大都市内部地区の民間住宅産業資本による再生の研究」
- (2) 加藤(佑)所員「わが国大企業におけるいわゆる『出向』に関する理論的・実証的研究」
- (3) 赤羽所員「日本企業の国際化に関する研究」
- (4) 小沼所員「G・オーウェルの政治思想」
- (5) 望月(宏)所員「組織、市場及びネットワークの形成と変遷」

(6) 『専修大学社会科学研究所月報』の刊行

- 二七〇号(一月号) 平井所員「『一般理論』の生誕(下)」
二七一号(二月号) 作間所員「GNPデフレーターについて」池田所員「田作の歯きしりの弁」
二七二号(三月号) 内田所員「THE MONEY OF THE SPIRIT」原伸子氏(法政大)書評「内田 弘著『中期ペル

クスの経済学批判』

二七三号(四月号) 合同研究会報告「国家秘密法案」

二七四号(五月号) 森所員・稲葉敏夫氏(早稲田大学)「わ

が国市場における国産牛肉と輸入牛肉の競合関係——大賀・

稲葉シミュレーションの間接的批判——」

二七五号(六月号) 宮本所員「内部組織の論理」

二七六号(七月号) 吉岡(健) 所員「戦後経済の発展と財政

——所得倍増計画下の財政——」、石渡所員「一面的労働価値

説はいかにして克服されるべきか——サービス商品価値の認

知について——」

二七七号(八月号) 森所員「Some Notes on the Japanese

Livestock Economy」

二七八号(九月号) 吉岡(恆) 所員「産業連関分析とポーラ

ンドの経済社会」、望月(宏) 所員・村田 聰氏(住友信託

銀行)「The Different Environmental Impact of Deregula-

tion on Financial Markets in the U.S. and Japan: Is the

Market Always Right?」

二七九号(一〇月号) 吉岡(健) 所員「戦後経済の発展と財

政——所得倍増計画下の財政——」(二七六号にづく)

二八〇号(十一月号) 石渡所員「なぜ株式会社か」、池田所

員「資料紹介」北海道行刑史・囚人労働小史」

二八一号(十二月号) 合同研究会報告「国家秘密法修正案」

(平川東亜記)